

2023年7月22日(土)11:30-12
介護福祉士養成大学連絡協議会研修会

「四年制介護福祉士養成大学における人材育成と学びの価値 —公表されているデータ分析と文献レビュー—」

渡辺裕美 介護福祉士養成大学連絡協議会長 (東洋大学)



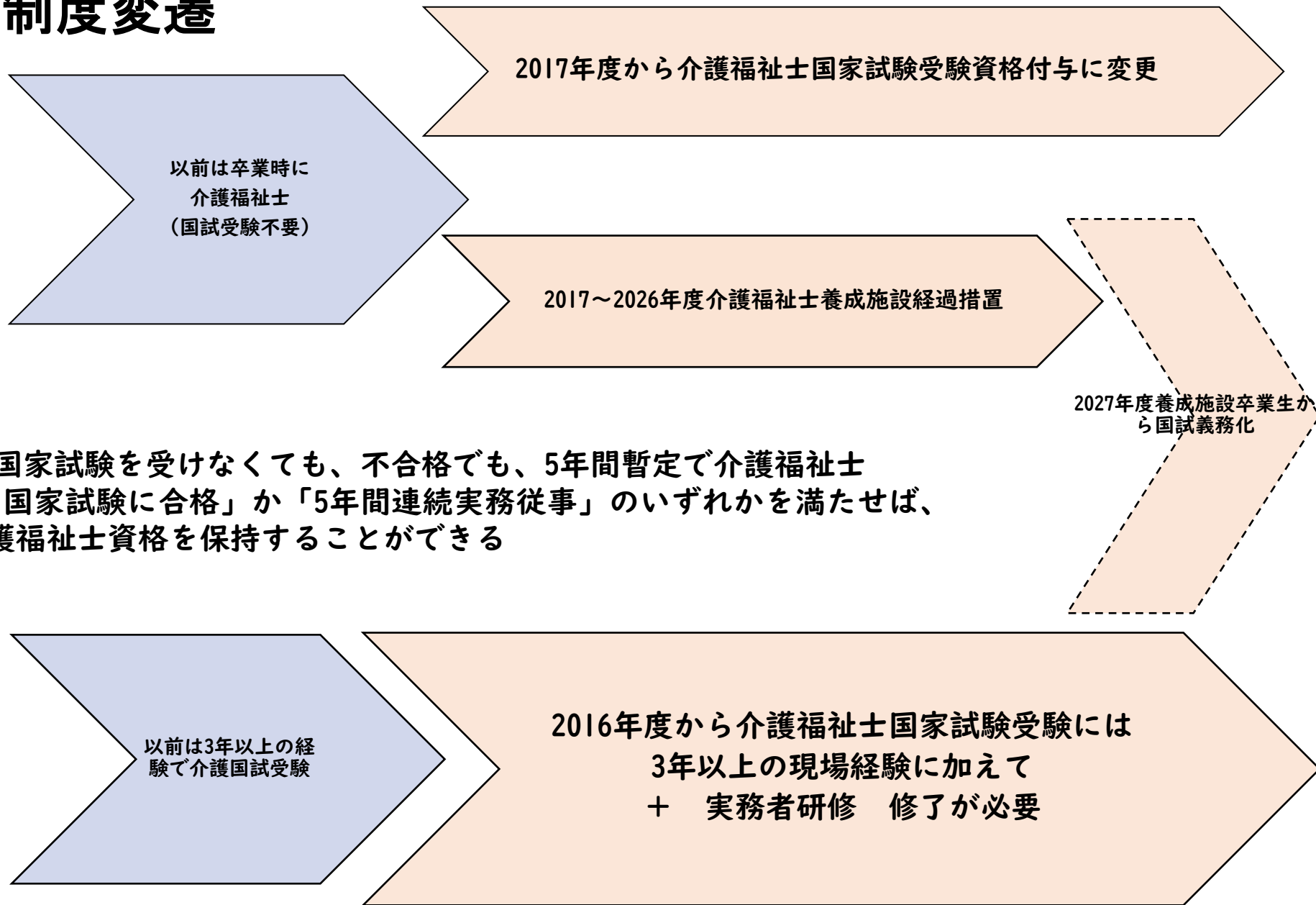
ねらい

介護福祉士養成大学の学生は、何を得て、どのように育っていくのか

卒業後にどんな分野でどのようなキャリアを積んでいくのか

介護福祉士の制度変遷

経過措置：国家試験を受けなくても、不合格でも、5年間暫定で介護福祉士
「5年以内に国家試験に合格」か「5年間連続実務従事」のいずれかを満たせば、
引き続き介護福祉士資格を保持することができる



多様な大学教育を基礎とする介護福祉士養成

図表1 介護福祉士養成大学学部名称のAIテキストマイニング分析結果



2022年7月時点 57大学の介護福祉士養成カリキュラムをもつ大学学部名称をAIテキストマイニング
<https://textmining.userlocal.jp/results/RKoCLFHdYAFacS8S2272dKzJwZfK3vy4>で分析し(2022年8月15日アクセス)
筆者作成

図表2 第35回介護福祉士国家試験を受験した4年制介護福祉士養成大学

1	東北福祉大学	29	静岡福祉大学
2	新潟医療福祉大学	30	中部学院大学
3	仙台大学	31	大妻女子大学
4	国際医療福祉大学	32	帝京科学大学
5	金城大学	33	東京福祉大学
6	文京学院大学	34	広島文教大学
7	東洋大学	35	山梨県立大学
8	高崎健康福祉大学	36	神奈川県立保健福祉大学
9	日本社会事業大学	37	熊本学園大学
10	日本福祉大学	38	白梅学園大学
11	聖隷クリストファー大学	39	北翔大学
12	秋田看護福祉大学	40	桃山学院大学
13	高知県立大学	41	福山平成大学
14	神戸女子大学	42	九州保健福祉大学
15	新潟青陵大学	43	東京基督教大学
16	目白大学	44	東北文化学園大学
17	西九州大学	45	郡山女子大学
18	城西国際大学	46	聖カタリナ大学
19	長崎国際大学	47	聖徳大学
20	新見公立大学	48	岡山県立大学
21	十文字学園女子大学	49	九州看護福祉大学
22	鹿児島国際大学	50	東海学院大学
23	長崎純心大学	51	北海道医療大学
24	広島国際大学	52	関西福祉科学大学
25	大阪人間科学大学	53	周南公立大学
26	田園調布学園大学	54	東日本国際大学
27	同朋大学	55	身延山大学
28	神戸医療未来大学	56	仙台白百合女子大学

厚生労働省 第35回介護福祉士国家試験
養成施設等別合格率
<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/01073950.pdf> より
4年制大学を筆者抽出
受験者数降順

図表3 介護福祉士養成大学の介護福祉士国家試験合格率

	受験者	合格者	合格率
第34回介護福祉士国家試験 四年制介護福祉士養成大学 58大学 新卒のみ	596	572	96.4%
第35回介護福祉士国家試験 四年制介護福祉士養成大学 56 大学 新卒のみ	663	659	99.4%

第34回介護福祉士国家試験合格率

72.3%

(受験者数83,082人／合格者数60,099人)

第35回介護福祉士国家試験合格率

84.3%

(受験者79,151人／合格者66,711人)

厚生労働省 第34回介護福祉士国家試験養成校別合格率 第35回介護福祉士国家試験養成校別合格率より筆者作成

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/000917102.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/001073950.pdf>

図表4 第35回介護福祉士国家試験の合格率比較

第35回介護福祉士国家試験	受験者	合格者	合格率
総数	79,151	66,711	84.3%
四年制介護福祉士養成大学56 大学の新卒のみ	663	659	99.4%
四年制介護福祉士養成大学56 大学の新卒既卒合計	698	684	98.0%
現場経験ルート※	67,735	57,747	85.2%
介護養成校359 校 全体	7,784	5,888	75.6%
福祉系高校118校	2,480	2,322	93.6%
EPA*	1,152	754	65.4%

※現場経験ルートの受験者合格者は未公表のため、全数から他の既発表数を引いて筆者計算

*EPAの受験者は未発表のため、既発表の合格数と合格率から筆者計算

介護福祉士養成大学卒の介護福祉士合格者は1% 貴重な未来を牽引する人材。

- 第34回介護福祉士国家試験で合格して4年制大学で介護福祉士合格者総数は587人(新卒合格＋既卒合格)
- 第34回介護福祉士国家試験合格者60,099人に占める4年制大学介護福祉士養成者の占める割合は、0.98%
- 第35回介護福祉士国家試験で4年制大学で介護福祉士合格者総数は684人(新卒合格＋既卒合格)。
- 第35回介護福祉士国家試験合格者66,711人に占める4年制介護養成による介護福祉士は 1 %

介護福祉士養成大学は学生確保に苦戦

図表5 4年制介護福祉士養成大学の新卒受験者数 一人数区分別一

第35回介護福祉士国家試験の新卒受験者数		
30人以上	2 大学	
20～29	7 大学	
10～19	21 大学	
9人以下	26 大学	46.4%

4年制介護福祉士養成大学56 大学

厚生労働省 第35回介護福祉士国家試験養成校別合格率より筆者算出35回介護福祉士国家試験養成校別合格率より筆者作成

<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/001073950.pdf>

文献レビューによる 四年制介護福祉士養成大学における人材育成と学びの価値



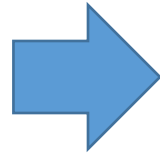
図表6 大学で介護福祉を学ぶ学生の修学動機

- 学生は、もともと大学進学・大学卒を希望
- 幅広い教養・学びの機会を求めている
- 介護福祉を学ぶ学生は社会福祉士受験資格も取得する目的で入学している
- 将来、介護福祉や介護福祉領域以外の福祉領域を含めて就職の選択幅を広げる模索期間となる
- 自己のペースでゆっくり学ぶ期間がほしい

図表7 介護福祉論の授業による介護に対する考え方の変化

構造的な授業

- 講義
- 卒業生ゲスト講師を招き
 - ①職場概要
 - ②実際に行っている介護
 - ③介護観を話してもらう
- 福祉施設見学や福祉機器展へ参加
- 映像画像やDVDの視聴などを含む



もっと学びたいという学習意欲の向上
介護の見方が変化

介護者として基本的姿勢の理解

介護の世界が広がり、多角的な見方ができるようになった

介護はただ心身のケアを行うだけの仕事ではなく『命』について関わる仕事でもあることに気づいた

利用者がより良い生活ができるようなサービスを行うということでイメージがガラリと変わりました

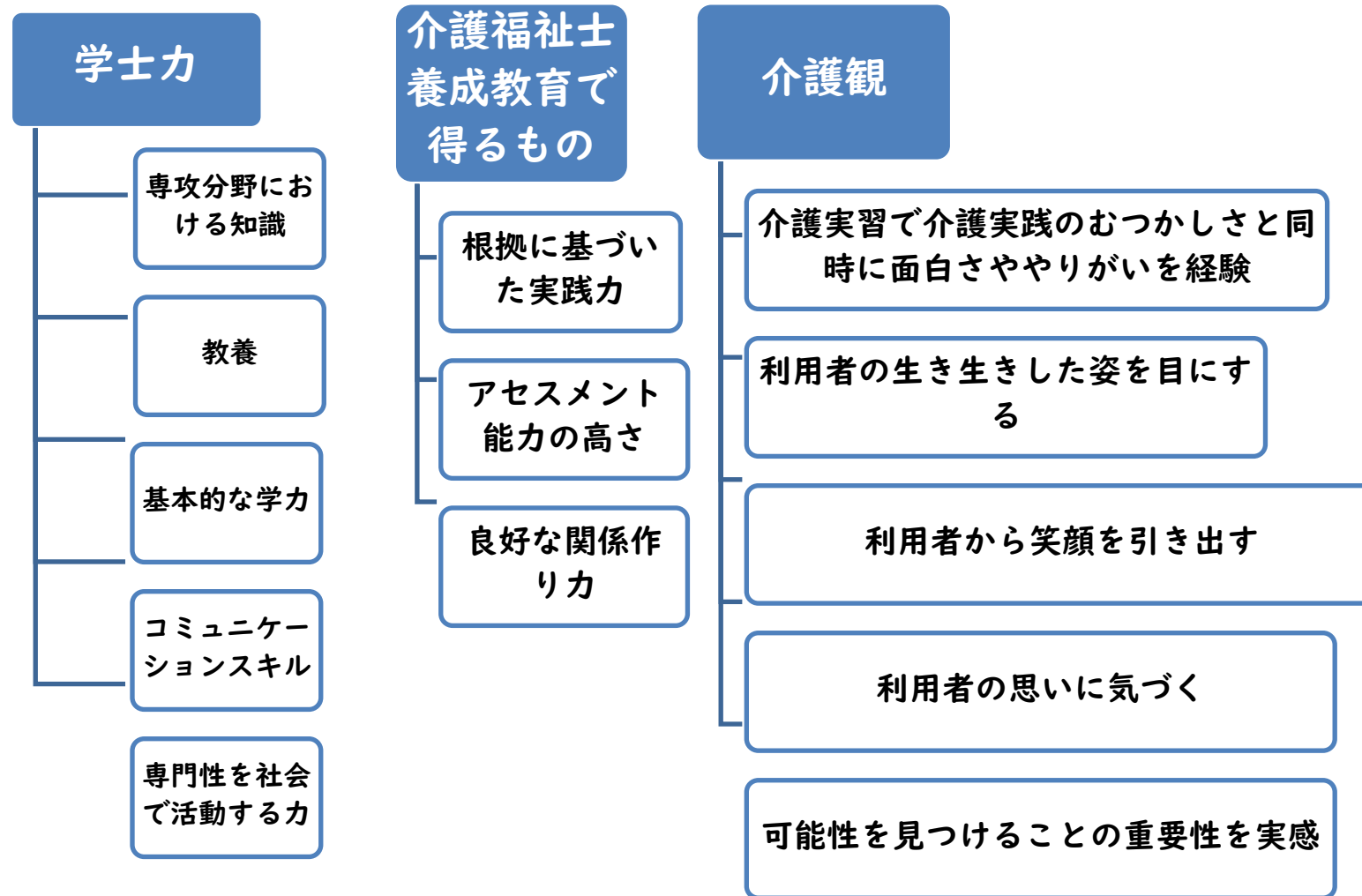
図表8介護福祉の講義・演習・実習で深まり、広がる視点



介護福祉論	生活支援技術	介護実習	アセスメントに基づく介護実践	介護に関する価値
介護の理念や本質を学び介護に対する考え方が変化する	体位変換や入浴や移動	どうしていいかわからない	利用者の思いに気づく	個別支援
介護の世界が広がる	利用者とのよりそい	利用者の立場で介護を考えることができるようになる	可能性をみつけることの重要性に気づく	利用者中心
介護は心身のケアとともに命に関わる仕事	コミュニケーション	的確なアセスメントに基づく介護実践	より介護に対する思いが強くなる	自立を支援する
利用者のよりよい生活を支援する	家族支援も視野に	利用者支援のための連携やチーム	介護を実践することの難しさと同時に、面白さ、やりがいを感じる	根拠のある利用者主体の介護

引用出典:間瀬(2018)吉田(2015)吉田(2018)水谷(2020)の文献内容から筆者作成

図表9 介護福祉士養成大学で育む力と介護観

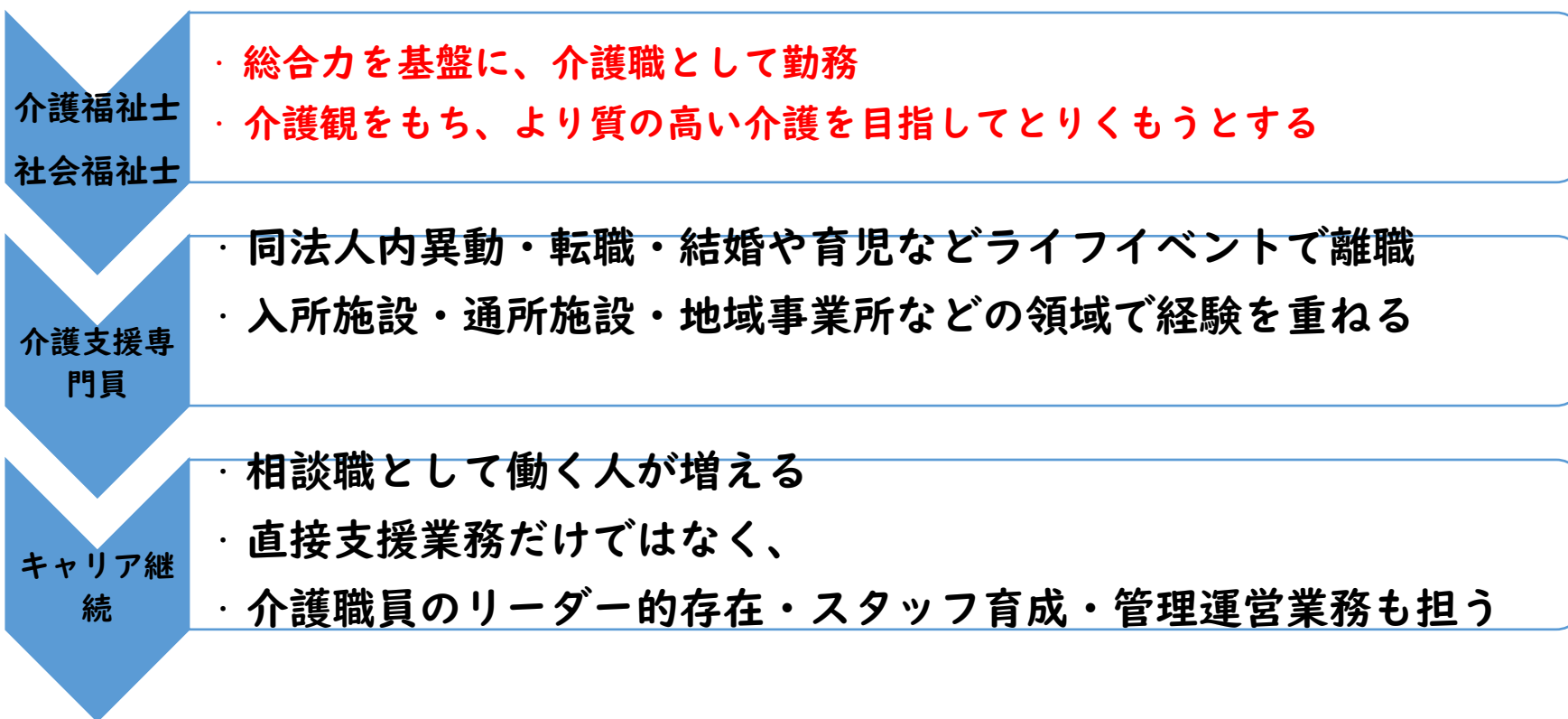


引用出典: 間瀬(2018) 吉田(2015) 吉田(2018) 水谷(2020)
の文献内容から筆者作成

図表10 介護福祉士養成大学卒業後のキャリアが育まれる過程

プラスの要因 **大学で得た専門的知識が貢献。**
利用者との**かかわりに生きがい。**
リーダーとなれるように**努力**する。

マイナスの要因 介護への意欲はあるが周囲の協力が得られない。将来への見通しが無い。労働条件が悪い。人間関係に悩み。



引用出典: 吉田(2018) 藤原(2015) 鈴木(2015) 福崎(2011) 青木(2019)の文献内容から筆者作成

要約 介護福祉士養成大学の学びには価値がある。

大学で4年間介護福祉教育を積み上げることで、学士力とともに、4年間で積み上げていく介護福祉の講義・演習・実習によって、介護観「介護とは何か、利用者の生きる力・意欲を引き出し、できることをふくらませるためにはどうすればよいかを判断し実践するための、基本的な考え方」が形成されていく。

介護福祉士養成大学で教育を受けて介護福祉士になった人は、

業務中心から利用者中心へ介護を変える。

個別の、介護を組み立てていく。

現場を牽引し、介護教育を担う。

ジグソーパズルのピースを埋め、
新たな介護を牽引していく次世代
の介護を創っていく貴重な人材。



渡辺裕美(2023)「四年制介護福祉士養成大学における人材育成と学びの価値—公表されているデータ分析と文献レビュー」『ライフデザイン学研究』Vol.18, 223-242. <http://doi.org/10.34428/00014048>

<引用文献>

- 青木宏昌, 杉澤秀博, 青木宏心(2020) 「高齢者介護施設に勤務する介護福祉士養成大学卒業者の介護福祉士としてのキャリア継続要因」 『老年学雑誌』 vol.10, 27-42.
- 藤原素子(2015) 「4年制大学における介護福祉士養成 17 年を振り返って」 『北翔大学人間福祉研究』 vol.18, 1-9.
- 福崎径子, 稲田弘, 渡邊一平, 栗栖照雄(2011) 「潜在的介護福祉士の介護現場への復帰の可能性－介護系大学卒業生に対する調査から」 『九州保健福祉大学研究紀要』 vol.12, 39-43.
- 二渡努(2022) 「介護福祉士養成施設への介護福祉士国家試験義務付けに向けた課題－介護福祉士養成施設の学生に対するアンケート調査から－」 『東北福祉大学紀要』 vol.46, 99 - 110.
- 堀江竜弥, 福田伸雄 (2018) 「介護福祉士資格を取得した卒業生のキャリアに関する調査（速報）利用統計」 『仙台大学紀要』 vol.50, No.1, 17-23.
- 介護福祉士養成大学連絡協議会(2007) 「4年制大学における介護福祉士養成に関する基礎調査における人材育成のあり方についての要望に関する調査」 調査報告書
- [介護福祉士養成大学連絡協議会](https://kaigo-university.com/web/?cat=10)(2015) 「4年制大学における介護福祉士養成教育について－4年制大学介護福祉教育の独自性と教育方法についての調査－」 調査報告書<https://kaigo-university.com/web/?cat=10>
- 介護福祉士養成大学連絡協議会(2022) 「介護福祉士養成大学卒業生のキャリア形成に関する調査」 調査報告書
- 介護福祉士養成大学連絡協議会2022総会資料
- 厚生労働省 第34回介護福祉士国家試験養成施設別合格率<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/000917102.pdf>
- 厚生労働省 第35回介護福祉士国家試験養成施設別合格率 <https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/001073950.pdf>
- 間瀬敬子, 久世淳子, 武田啓子, 丹羽啓子, 水谷なおみ, 藤原秀子(2018) 「4年制大学で学ぶ介護学生の介護に対する考え方の変化—入学後半年間の学び—」 『日本福祉大学健康科学論集』 vol.21, 45-51.
- 宮内寿彦(2010) 「介護福祉士養成大学の現状に関する一検討」 『十文字学園女子大学人間生活学部紀要』 vol.8, 95-108.
- 宮内寿彦(2016) 「介護福祉を学ぶ学生の修学動機支援に関する研究(3)－4年制大学で介護福祉を学ぶ動機－」 『十文字学園女子大学紀要』 vol.46, 99 - 108.
- 宮内寿彦, 山口由美(2017) 「4年制大学における介護福祉教育の変遷と課題に関する研究：本学の介護福祉教育の視点と課題に焦点をあてて」 『十文字学園女子大学紀要』 vol.48, 99-109.
- 水谷なおみ, 藤原秀子, 丹羽啓子, 武田啓子, 間瀬敬子, 久世淳子(2020) 「介護観の形成に影響を与える因子に関する研究－介護福祉士養成課程で学ぶ大学生を対象に－」 『日本福祉大学健康科学論集』 vol.23, 1-9.
- 鈴木真智子, 大山早紀子, 大島千帆, 古屋龍太, 贅川信幸, 添田雅宏, 大島巖(2015) 「4年制大学介護福祉士養成課程卒業生のキャリア形成の現状と課題－社大卒業生のキャリア形成と大学の役割に関する全数調査結果から－」 『日本社会事業大学研究紀要』 vol.61, 97-109.
- 佐藤みゆき, 家村昭, 長谷川武史, 濱谷紀子(2013) 「福祉系大学生の進路として高齢者福祉施設のニーズ・意識研究—道北・道央の特養へのインタビュー調査から—」 『地域と住民』 名寄市立大学道北地域研究所年報vol.31, 63-72.
- 社会保障審議会介護保険部会(第91回 令和2年7月27日) 「地域共生社会の実現のための社会福祉法の一部を改正する法律についての報告」 https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/joho_kojin_kaigi/kakusyu_giziroku/kaigo_kyougikai/unkyou.files/020824siryou5.pdf
- 社会福祉振興・試験センター 介護福祉士資格取得ルート<https://www.sssc.or.jp/kaigo/shikaku/route.html>
- 吉田清子, 鈴木聖子, 阿部明子, ほか(2015) 「介護観の分析からみた介護実習の効果評価研究」 『岩手県立大学社会福祉学部紀要』 vol.17, 43-49.
- 吉田清子, 阿部明子, 柏葉英美, 高田梨恵, 熊谷はる, 米本清, 鈴木聖子(2018) 「4年制大学で介護福祉士養成課程を学ぶ意義—介護福祉士課程卒業生への意識調査から—」 岩手県立大学社会福祉学部研究報告書 [URLhttps://iwate-pu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=3086&item_no=1&page_id=13&block_id=21](https://iwate-pu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=3086&item_no=1&page_id=13&block_id=21)